

石川県における平成19年中の災害及び火災・救急の状況（速報）について

本県における平成19年（1月～12月）の災害及び火災・救急の状況について、各市町及び消防本部（局）からの報告に基づき、以下のとおりとりまとめた。

1. 災害件数及び被害状況について

平成19年の災害は、最大震度6強を記録し、県政史上未曾有の大災害となった能登半島地震が発生したことにより、この地震によるものが、ほとんどを占めており、死者数を除いた負傷者数や、住家の全壊、半壊、一部損壊などの棟数は、極めて大きなものとなっている。

《災害件数・被害の状況》

区 分	災害 件数 (件)	人的被害		住 家 被 害					非住家 被 害 (棟)	被害総額 (農林・土木 等) (千円)
		死 者 (人)	負 傷 者 (人)	全 壊 (棟)	半 壊 (棟)	一部損壊 (棟)	床上浸水 (棟)	床下浸水 (棟)		
平成19年	18	1	340	686	1,735	26,935	13	174	4,565	61,365,277
うち能登半島地震	1	1	338	685	1,735	26,932	-	-	4,471	52,450,680
平成18年	14	3	12	2	1	14	13	159	43	9,819,046
増 減	4	2	328	684	1,734	26,921	-	15	4,522	51,546,231

注：災害査定等で数値が変更されることがある。

平成19年中の災害件数は18件で、前年（14件）に比べ、4件の増であった。

被害状況のうち、人的被害は、能登半島地震による死者の方が1人であり、豪雪による前年の死者3人から比較すると2人減となったものの、負傷者は340人のうち338人が能登半島地震によるものであり、前年の12人と比べ大幅に上回っている。

住家被害についても、全壊、半壊、一部損壊とも、能登半島地震によるものが、ほとんどを占めており、全壊686棟のうち、地震によるものが685棟となっているほか、半壊1,735棟は、すべてが地震によるものとなっている。

また、一部損壊26,935棟についても、地震によるものが、26,932棟となっている。

住家の床上・床下浸水については、床上浸水が昨年と同数の13棟であり、床下浸水は15棟増の174棟となっており、主に8月20日、28日、10月16日の豪雨により、金沢市や内灘町、七尾市などで発生したものである。

非住家被害の4,565棟については、大半が能登半島地震による被害であり、4,471棟となった。

また、農林・土木等の被害総額は、613億6千万円となっており、このうち、能登半島地震による被害額は、524億5千万円となっている。

能登半島地震以外の主な被害状況は、以下のとおりである。

- ・ 3月5日の強風で能美市で非住家6棟の被害が発生した。

- ・ 6月29日から30日の梅雨前線豪雨による土砂崩れで、七尾市で負傷者1人、床下浸水1棟が発生した。
- ・ 8月20日に発生した豪雨により、人的被害はなかったが、住家床上浸水が金沢市で1棟、内灘町で5棟、住家床下浸水が金沢市で50棟、内灘町で31棟、非住家被害が内灘町で18棟発生した。
- ・ 8月22日から23日に発生した豪雨により、人的被害はなかったが、中能登町で住家床下浸水4棟が発生した。
- ・ 8月28日に発生した豪雨による土砂崩れで、能登町で負傷者1人、住家全壊1棟が発生したほか、住家床下浸水が能登町で62棟、輪島市で6棟、非住家被害が能登町で64棟、輪島市で3棟発生した。
- ・ 8月30日から31日の豪雨により、人的被害はなかったが、七尾市で床下浸水が4棟、輪島市で非住家被害が3棟発生した。
- ・ 10月16日の能登南部の豪雨により、人的被害はなかったが、七尾市で土砂崩れにより、住家2棟が一部損壊、七尾市で住家床上浸水7棟、同じく七尾市で住家床下浸水が16棟発生した。

過去10年間の災害件数・被害の状況

区 分	災 害 件 数 (件)	人 的 被 害		住 家 被 害					非住家 被 害 (棟)	被 害 総 額 (農林・土木 等) (千円)
		死 者 (人)	負 傷 者 (人)	全 壊 (棟)	半 壊 (棟)	一 部 損 壊 (棟)	床 上 浸 水 (棟)	床 下 浸 水 (棟)		
平成19年	18	1	340	686	1,735	26,935	13	174	4,465	61,365,277
平成18年	14	3	12	2	1	14	13	159	43	9,819,046
平成17年	23	4	17			8	14	113	20	8,410,819
平成16年	22		42	1		72	26	224	195	10,759,604
平成15年	16					8	3	118	13	1,901,388
平成14年	32		2		1	20	8	204	97	7,424,616
平成13年	24	1	128		1	78		43	73	5,603,602
平成12年	16		2			3		33	8	3,565,207
平成11年	21	1	2			21	18	564	5	6,792,048
平成10年	21	1	8	3	10	23	302	2,154	21	31,747,744

2. 火災・救急の状況について

(1)火災の状況について

平成19年中の火災は、出火件数369件（前年比：47件増）、建物焼損棟数306棟（前年比：8棟減）、り災世帯数184世帯（前年比：29世帯減）、り災人員519人（前年比：51人減）、死者15人（前年比：10人減）、負傷者47人（前年比：27人減）、損害額12億4,344万円（前年比：4億2,155万円減）、建物焼損床面積18,196㎡（前年比：1,467㎡減）、林野焼損面積202a（前年比：183a増）であった。

火災の状況

区分	出火件数 (件)		建物焼損 棟数 (棟)	り災 世帯数 (世帯)	り災 人員 (人)	死者 (人)		負傷者 (人)	損害額 (千円)	建物焼損 床面積 (㎡)	林野焼損 面積 (a)
	うち 住宅	うち住 宅									
平成19年	369	123	306	184	519	15	10	47	1,243,439	18,196	202
平成18年	322	133	314	213	570	25	15	74	1,664,990	19,663	19
増減	47	10	8	29	51	10	5	27	421,551	1,467	183

出火件数について

平成19年中の出火件数は369件と、前年より47件増加した。火災種別では、建物火災が224件と最も多く、全体の60.7%をしめている。

過去10年間の火災種別

(単位：件)

区分	平成 10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年
建物 (うち住宅)	205 (109)	226 (130)	217 (90)	228 (105)	246 (138)	197 (109)	232 (121)	225 (117)	231 (133)	224 (123)
林野	21	24	33	57	34	34	20	19	5	22
車両	51	69	68	48	56	55	37	55	36	48
船舶	4	1	1	2	0	2	0	1	1	2
その他	46	59	105	79	82	68	68	58	49	73
合計	327	379	424	414	418	356	357	358	322	369

死傷者について

平成19年中の火災による死者は15人と、前年より10人減少した。また、負傷者は47名と27名減少した。

過去10年間の死傷者

(単位：人)

区分	平成									
	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年
死者	28	17	18	20	14	21	9	21	25	15
(うち住宅)	(8)	(5)	(6)	(8)	(7)	(10)	(8)	(11)	(15)	(10)
負傷者	52	52	51	45	61	45	44	52	74	47

放火自殺者等は含まない。

出火原因について

平成19年中の出火件数369件のうち、「放火(放火の疑い含む)」によるものが44件で最も多く、次いで「こんろ」が43件、「たばこ」、「たき火」が各30件であった。

主な出火原因

(単位：件)

区分	放火	こんろ	たばこ	たき火	ストーブ	火遊び	マッチ、ライター	煙突	その他	合計
平成19年	44	43	30	30	17	10	4	4	187	369
平成18年	47	46	27	12	20	13	6	1	150	322
対前年	3	3	3	18	3	3	2	3	37	47

〔参考〕

近年の住宅火災による死者数の急増に対処するため、平成16年6月に消防法が一部改正され、全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務化された。

- ・ 新築住宅：平成18年6月1日から(消防法により)
- ・ 既存住宅：平成20年6月1日から(市町の火災予防条例)

(2)救急の状況について

平成19年中の救急出場件数は35,440件(前年比:1,224件増) 搬送人員が33,958人(前年比:1,147人増)であった。

このことは、県内で1日平均97.1件(前年比:3.4件増) 14分50秒(前年比:32秒減)に1件の割合で救急隊が出場したこととなり、県民34人(前年比2人減)に1人が救急車で搬送されたことになる。

なお、救急出場件数及び搬送人員を事故種別ごとにみると、第1位がいずれも「急病」であり、以下、一般負傷、交通事故であった。

救急の状況

区分	出場件数 (件)	搬送人員 (人)	県内の1日平均件数 (件)	出場頻度	搬送人員割合
平成19年	35,440	33,958	97.1	14分50秒に1件	県民34人に1人
平成18年	34,216	32,811	93.7	15分22秒に1件	県民36人に1人
増減	1,224	1,147	3.4	32秒	2人

事故種別出場件数

(単位:件)

種別	急病	一般負傷	交通事故	労働災害	自損行為	加害	運動競技	火災	水難	自然災害	その他	合計
平成19年	21,219	5,039	4,187	403	495	179	252	106	44	27	3,489	35,440
平成18年	20,377	4,867	4,249	445	486	172	277	111	44	4	3,184	34,216
対前年	842	172	62	42	9	7	25	5	0	23	305	1,224

過去10年間の出場件数、搬送人員

単位:件(出場件数) 人(搬送人員)

区分	平成10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年
出場件数	23,717	25,684	27,331	28,373	28,992	31,172	32,544	33,675	34,216	35,440
搬送人員	23,090	25,051	26,643	27,557	27,991	29,969	31,184	32,281	32,811	33,958